

The background of the slide features a collage of industrial machinery and components. On the left, the Ferro Tec logo is displayed in a light blue, semi-transparent font. Below the logo, there is a list of product categories in Japanese: 熱処理装置 (Heat treatment equipment), 真空炉 (Vacuum furnace), 真空電炉 (Vacuum electric furnace), and 真空炉 (Vacuum furnace).

Ferro Tec

熱処理装置
真空炉
真空電炉
真空炉

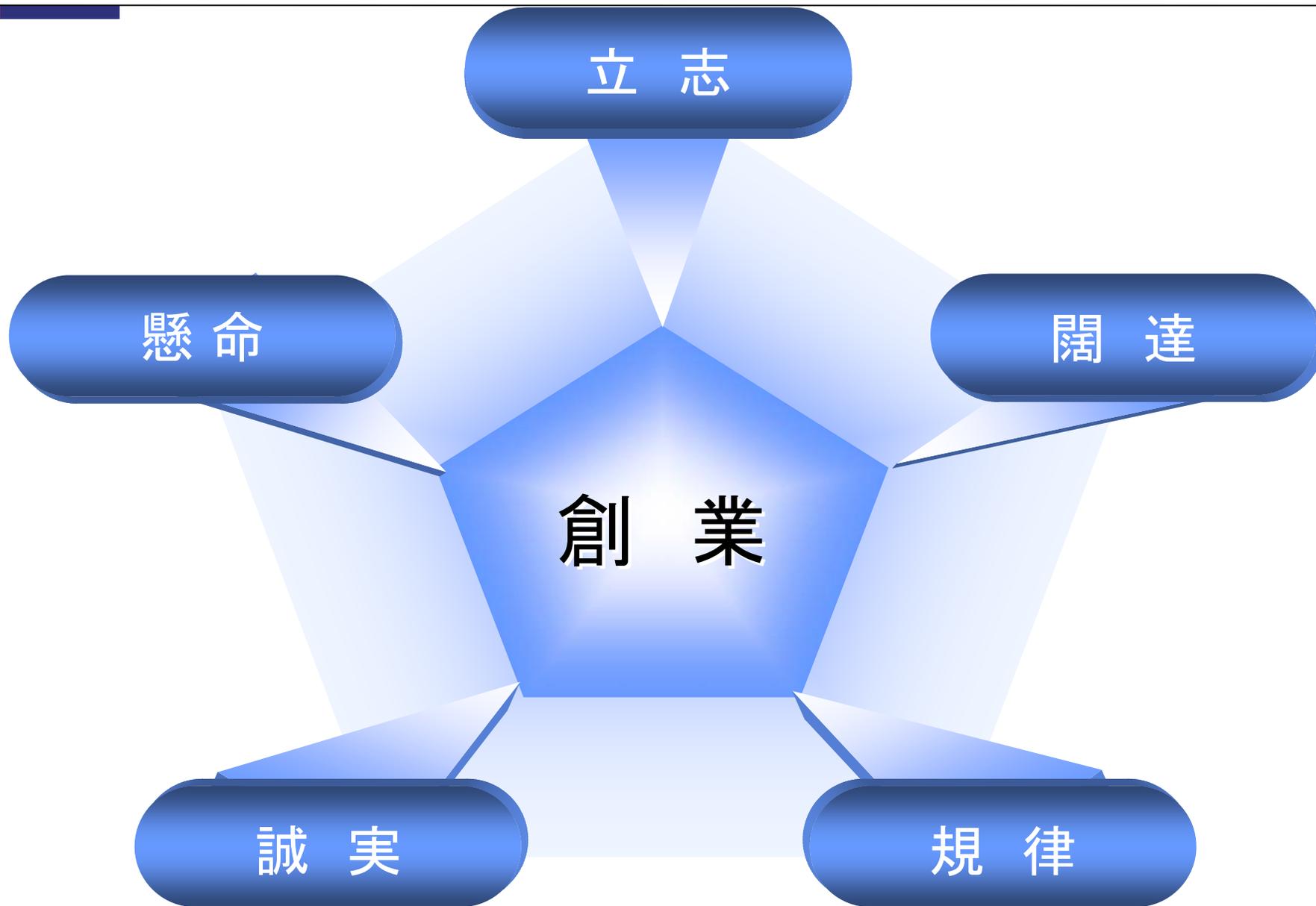
株式会社フェローテック 2010年3月期 決算説明会資料

2010年6月1日

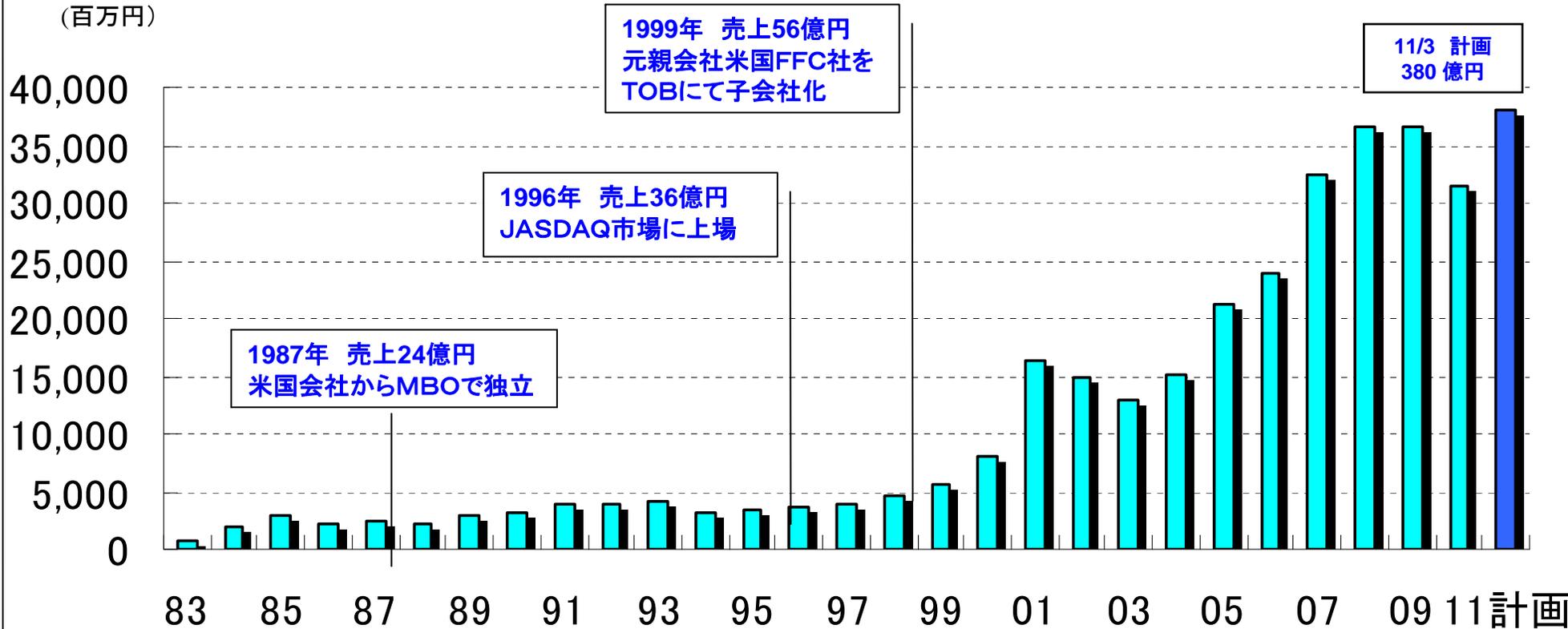
(ジャスダック6890)

<http://www.ferrotec.co.jp/>

1. 当期連結決算においては、連結子会社・持分法適用会社は2009年1月～12月末の業績、フェローテック単体は、2009年4月～2010年3月末の業績を連結しております。
2. 本資料は、2010年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、本資料は2010年6月1日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。



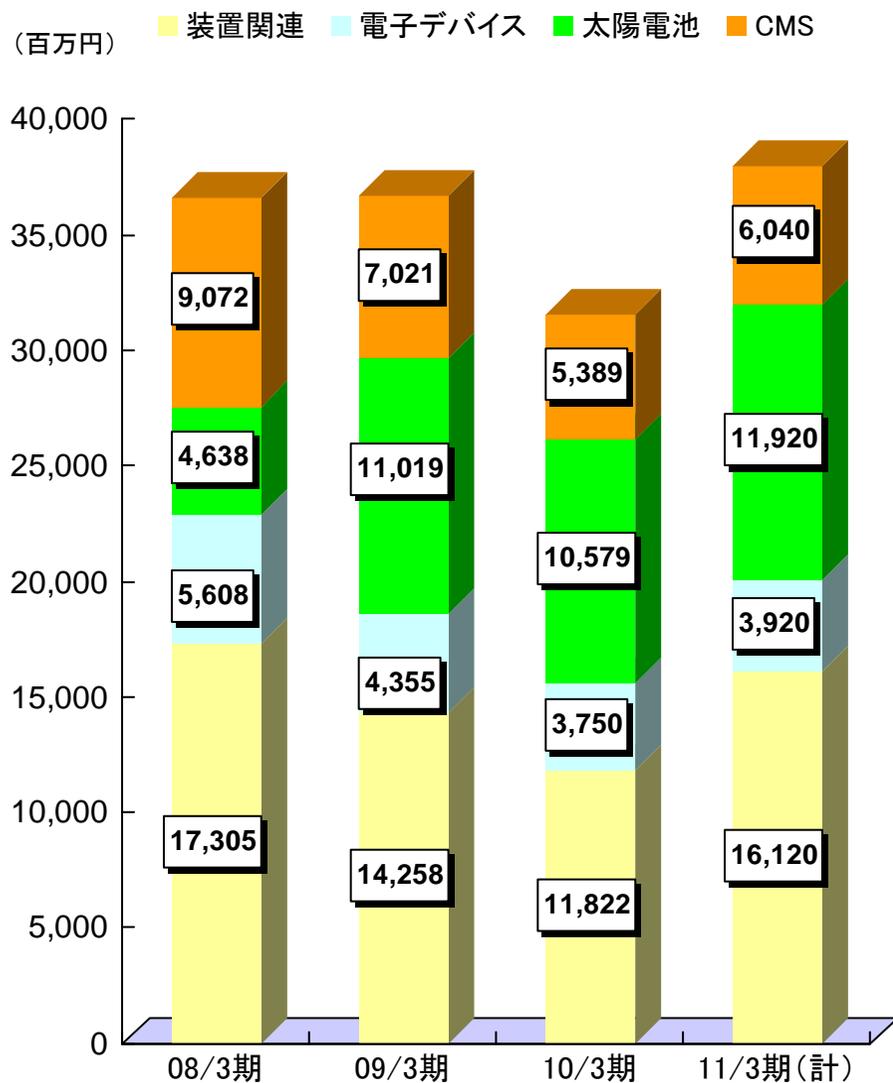
当社グループの売上推移



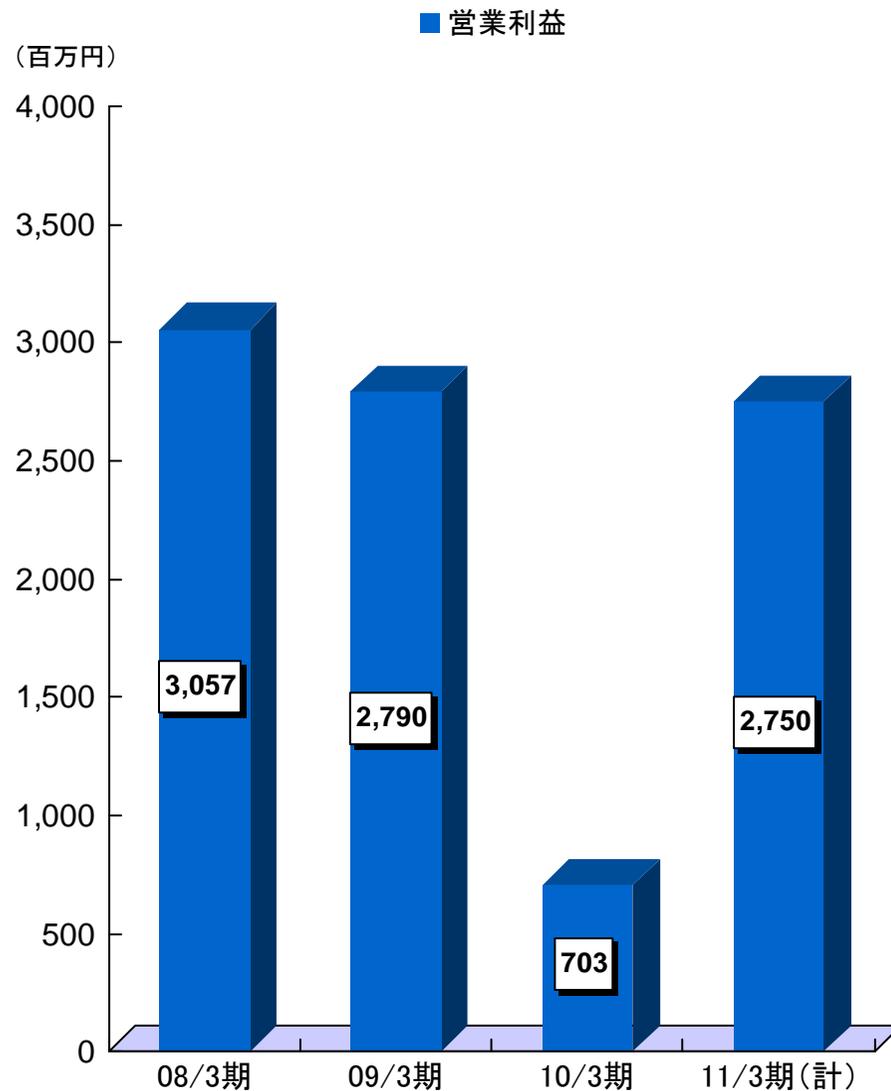
売上高と営業利益の推移



売上高の推移

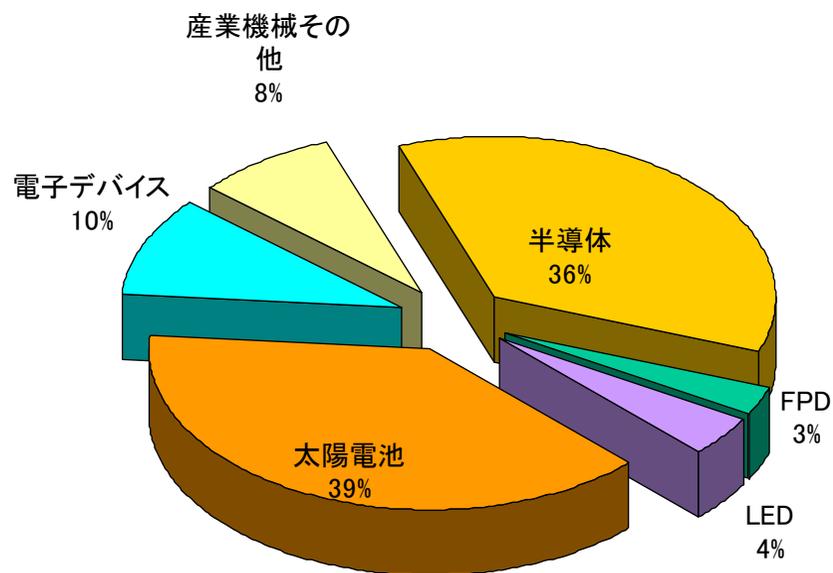


営業利益の推移



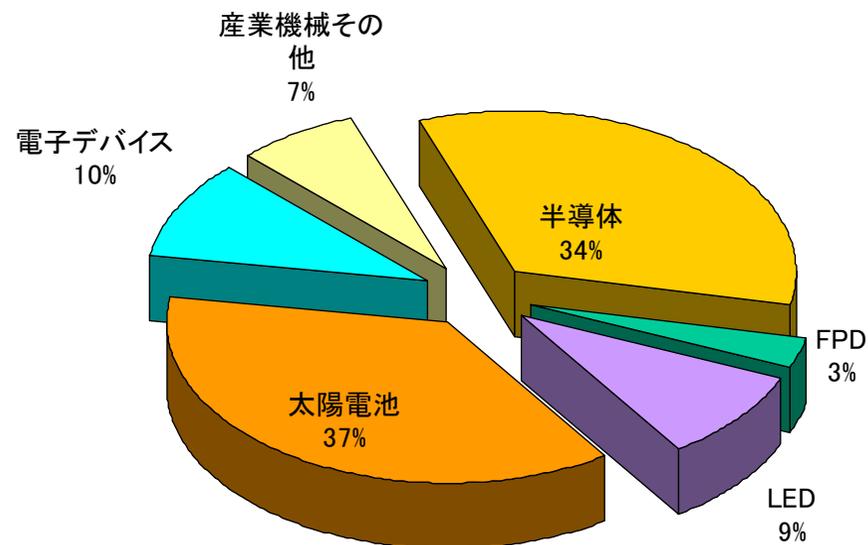
2010/3期

売上高 315億円



2011/3期(計画)

売上高 380億円

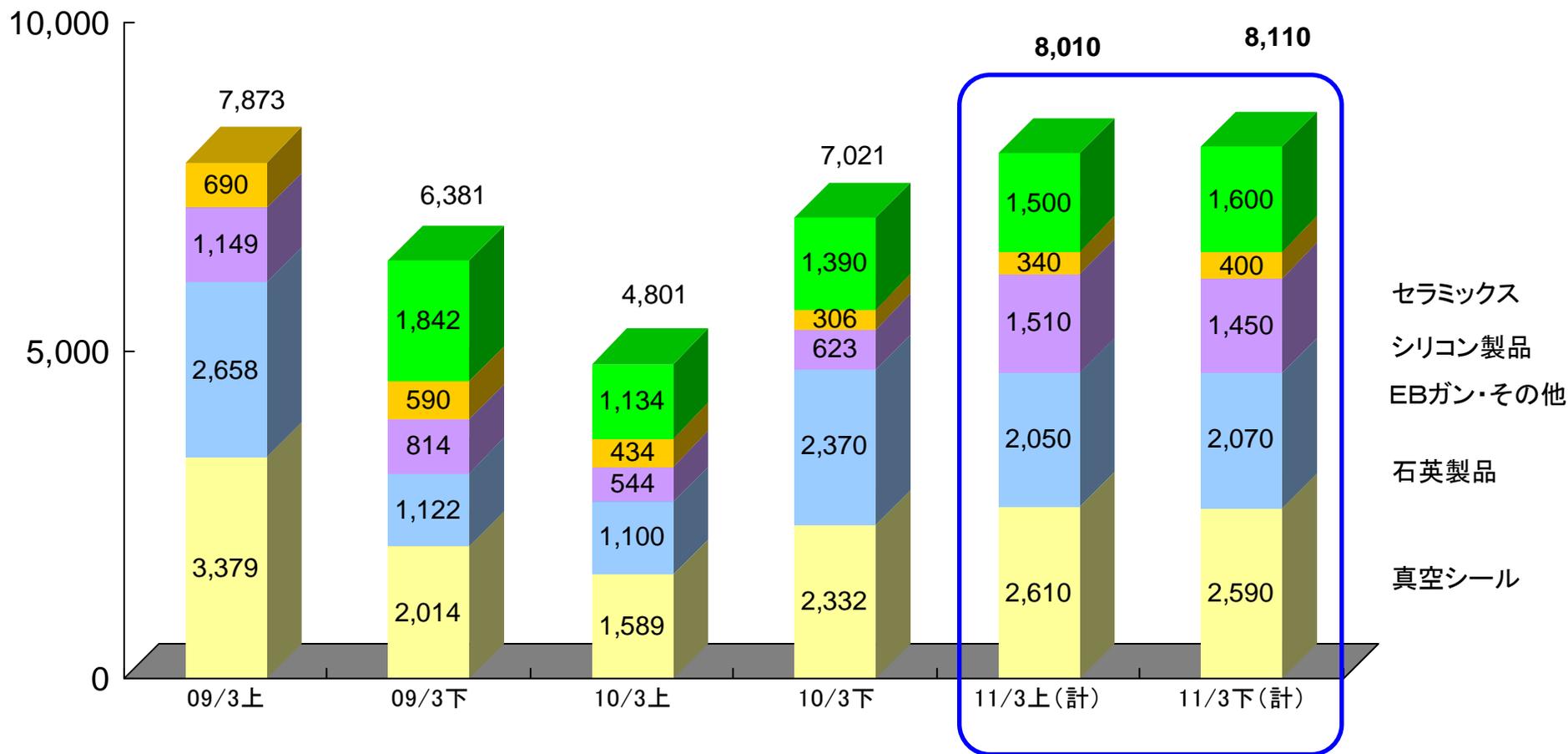


セグメントを越えた産業別販売先

装置関連事業

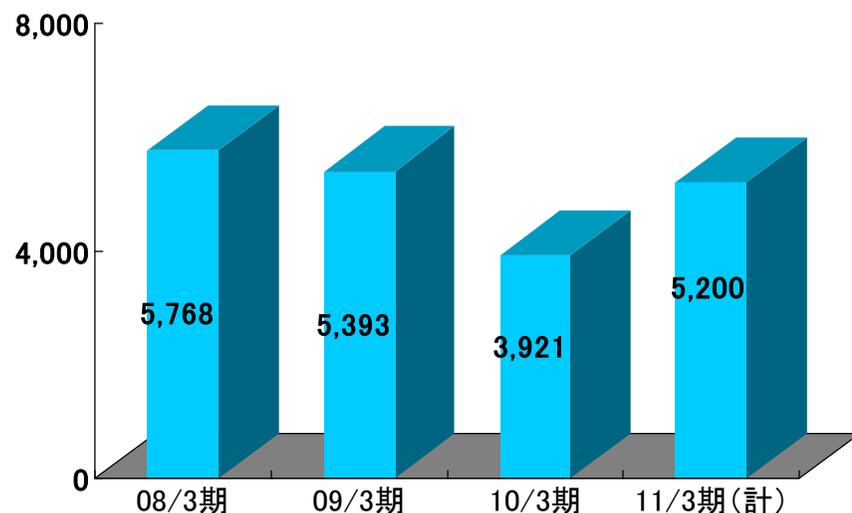
売上高
(百万円)

09下のセラミックスと、その他を変更

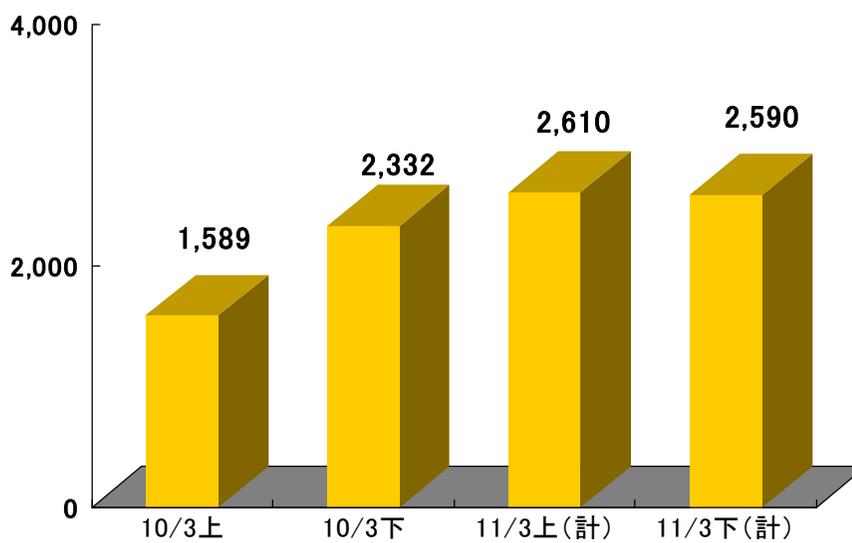


売上高の推移

(百万円)



(百万円)



1. 10/3期の業績

- ・半導体アジア市場、米国市場が好調に転ずる
- ・国内市場も回復基調となり底入れ
- ・LED市場が活況となり、FPDも順調に回復
- ・PV用薄膜装置向けが復活

2. 11/3期の見通し

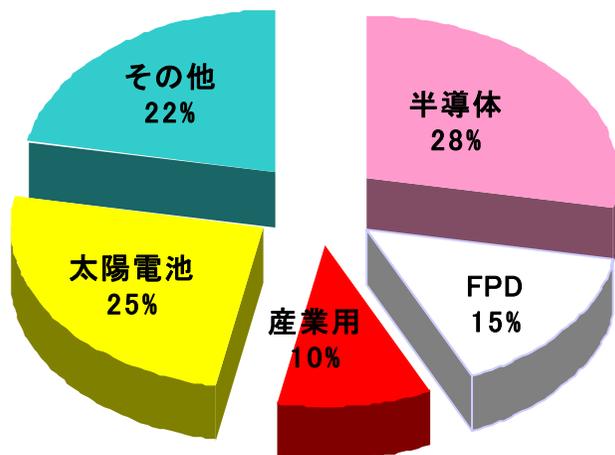
- ・半導体アジア市場、米国市場共に好調を見込む
- ・国内市場も回復色を強める
- ・LED市場がさらに好調
- ・FPD市場は韓国・台湾企業の中国工場新設で期待
- ・ロボットメーカー向けが活況となる

《施策》

- ・サブ・アセンブリ品の営業を異業種へも展開中
受注好調に付き中国工場の組立エリアを拡張
(リチウム電池用設備・PV薄膜装置向けなど)
- ・自社引上げ装置の増加に応じ、設備増強
- ・中国工場の人員増強を計画

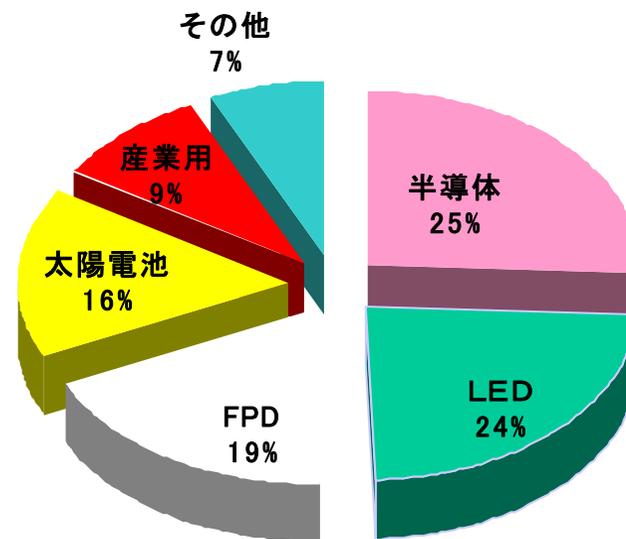
2009/3期

売上高 53.9億円



2010/3期

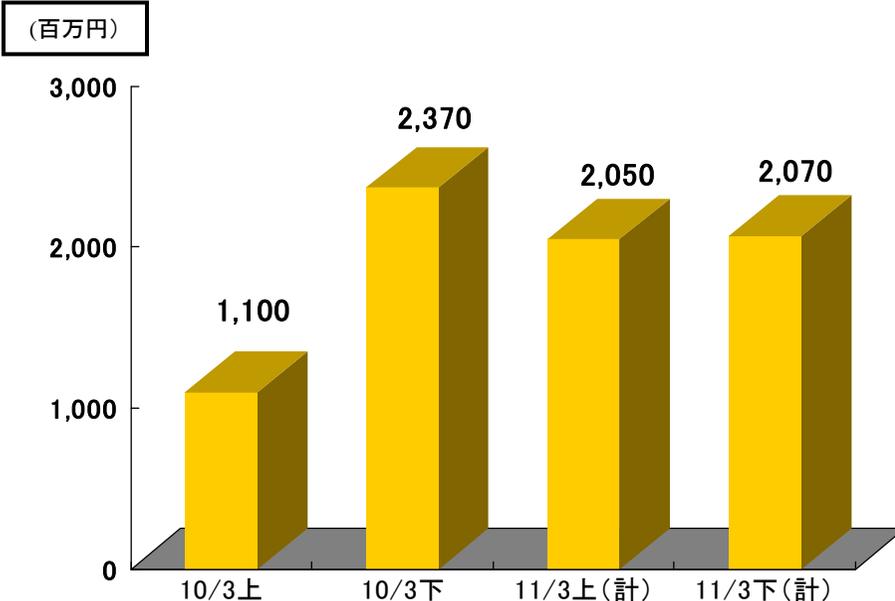
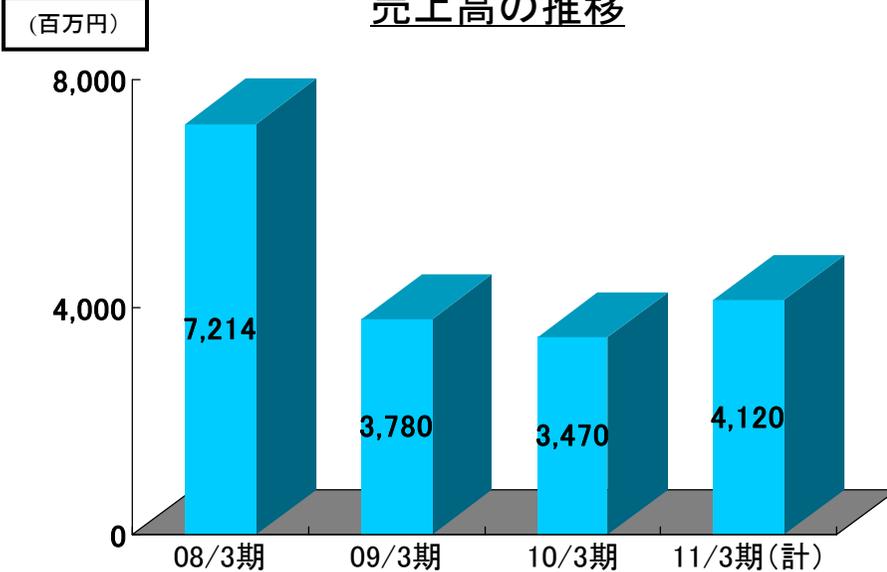
売上高 39.2億円



注) 産業用: 産業用真空装置、その他: 航空、医療、科学など

石英製品の状況と今後の見通し

売上高の推移



1. 10/3期の業績

- ・台湾メモリー市場が活況となり、売上回復となる
- ・国内ユーザー、米国大手OEMからの受注が回復
- ・LED装置向けで受注が増加に転じる

2. 11/3期の見通し

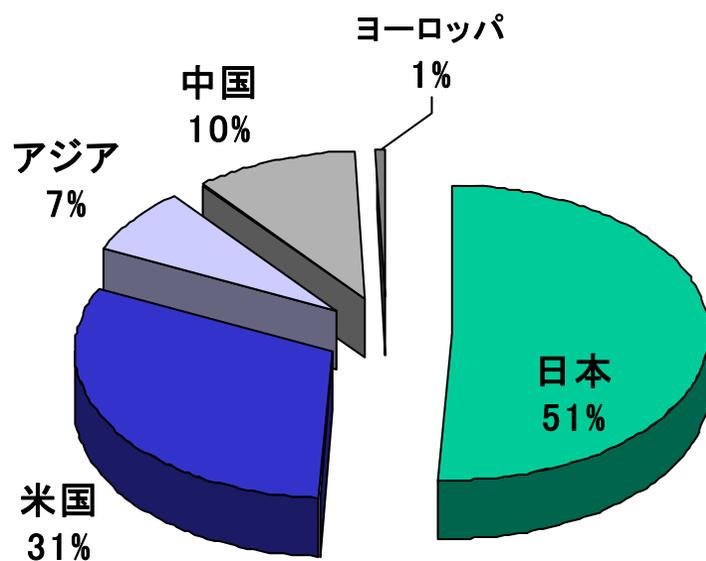
- ・台湾メモリーメーカーの増産、設備投資計画が相次ぐ
- ・アジア、国内ユーザー、米国大手OEMから受注激増
- ・LED装置向けで受注激増のため納期は厳しい状況
- ・急激な需要回復で石英材料メーカーの供給不足及び製造コストアップによる材料値上が進行

《施策》

- ・製販一体の合理策で子会社FTクオーツを吸収合併
- ・短納期対応を最重要視し、生産設備増強を計画
- ・低価格グレード品と高品質製品を区分製造
- ・LED市場向けを取りこぼさず、50%超のシェアを維持
- ・材料供給不足・材料値上げから価格値戻しを要請

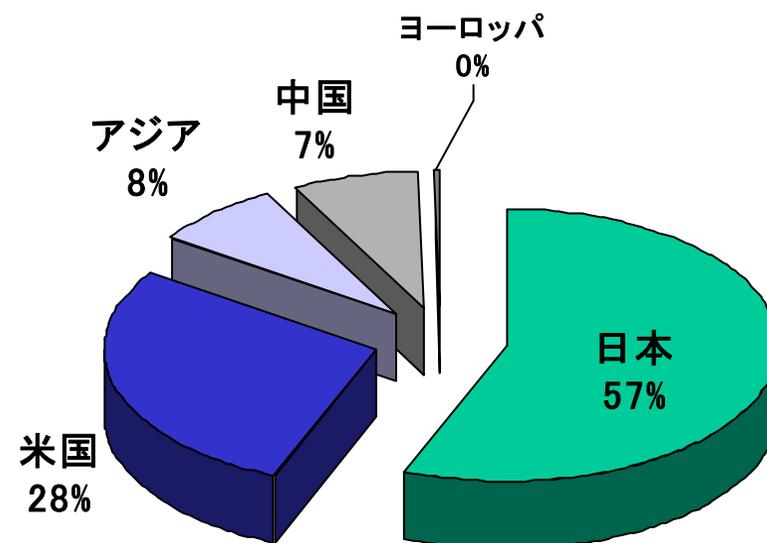
2009/3期

売上高 37.8億円



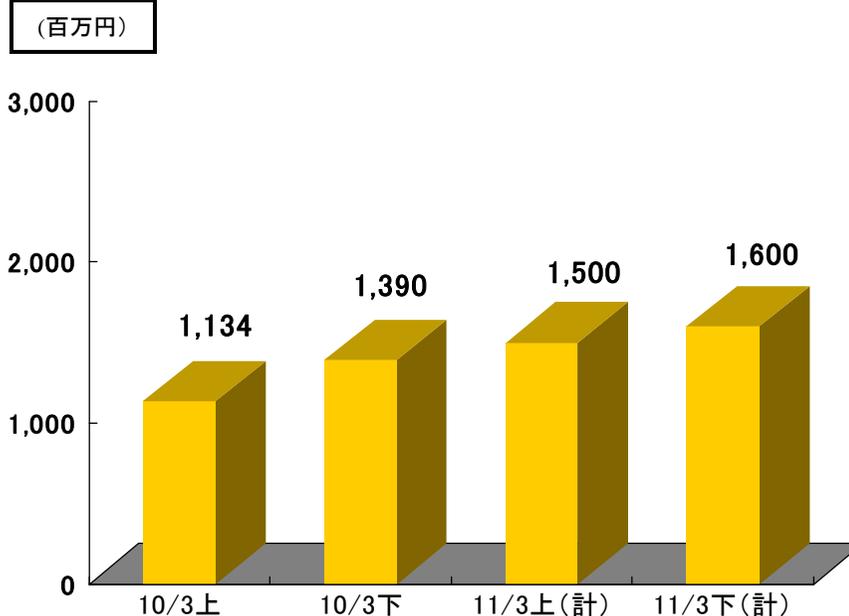
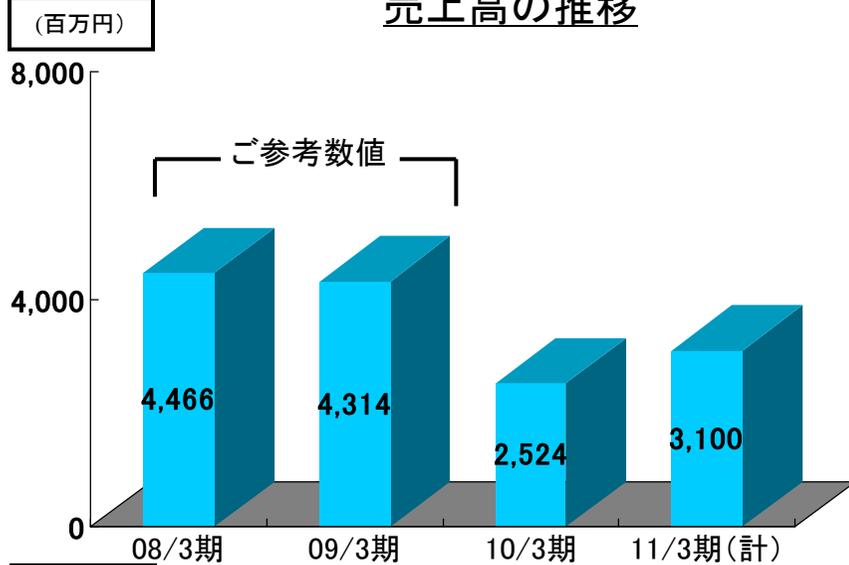
2010/3期

売上高 34.7億円



セラミックス製品の状況と今後の見通し

売上高の推移



1. 10/3期(1-12月)の業績

マシナブル セラミックス “ ホトベール ”

(Wafer回路検査治具用が主たる用途)

- ・メモリー(N/Flash)用: 春過ぎより回復したが価格は大幅下落
- ・ロジック用: 家電向けを中心に堅調な受注で売上大幅増

ファイン セラミックス

- ・上期売上はかつてない低水準で推移、下期より台湾・韓国の投資再開により受注は回復、輸出も着実に販路を拡大した

2. 11/3期(1-12月)の見通し

マシナブル セラミックス “ホトベール”

- ・メモリー(N/Flash)用: 数量面では増加基調で推移する見込値下げの要求は更に強くなっている
- ・ロジック用: 用途拡大の基調は変わらず着実な販売を維持
- ・輸出はアジア・米国市場向けで確実に販路を拡大している

ファイン セラミックス

- ・日台韓半導体メーカーの微細化大型投資を受け、期初より受注は増加傾向で、堅調な受注・販売が持続する
- ・輸出は、米国・シンガポール向けで着実に販路を拡大中

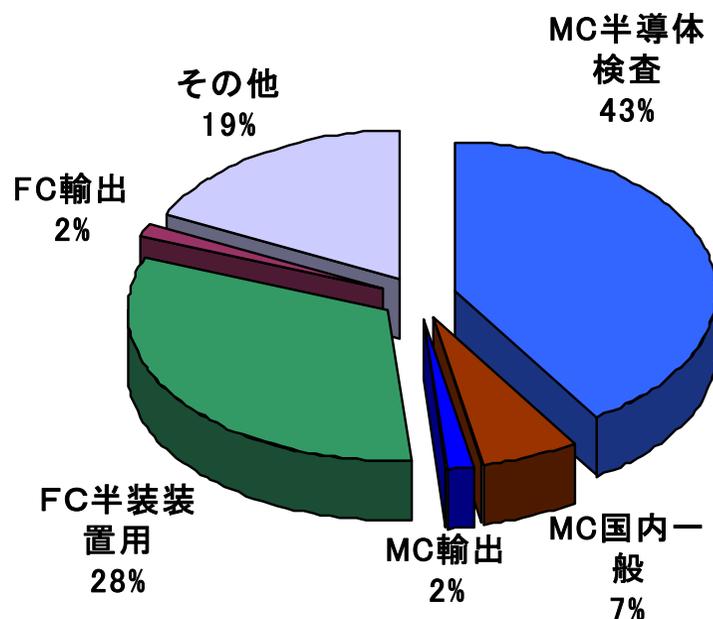
《施策》

- ・Wafer回路検査治具の用途拡大
- ・米国・アジア市場の新規需要家・新用途開拓営業強化
- ・新材料開発による販売競争力の強化

セラミックス製品の製品別販売シェア

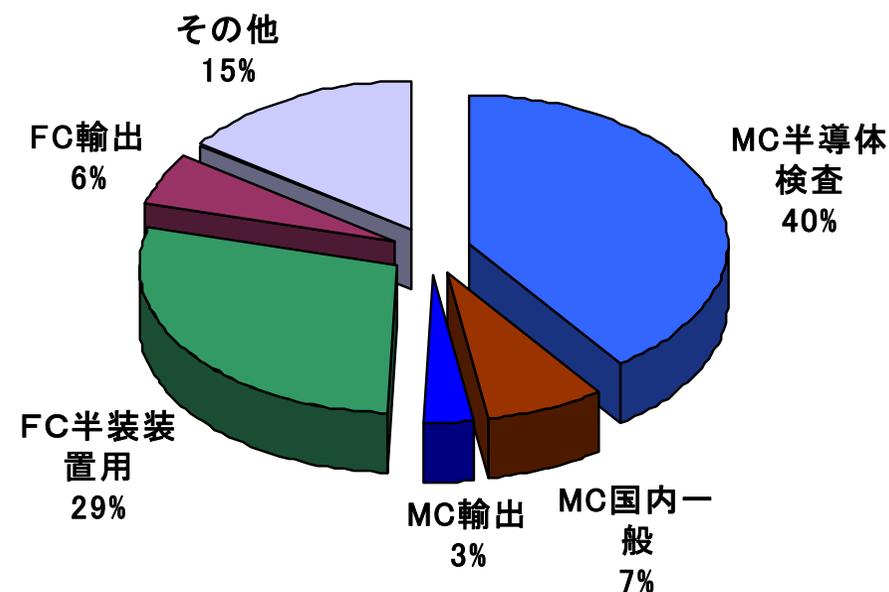
2010/3期(1-12月)

売上高 25.2億円



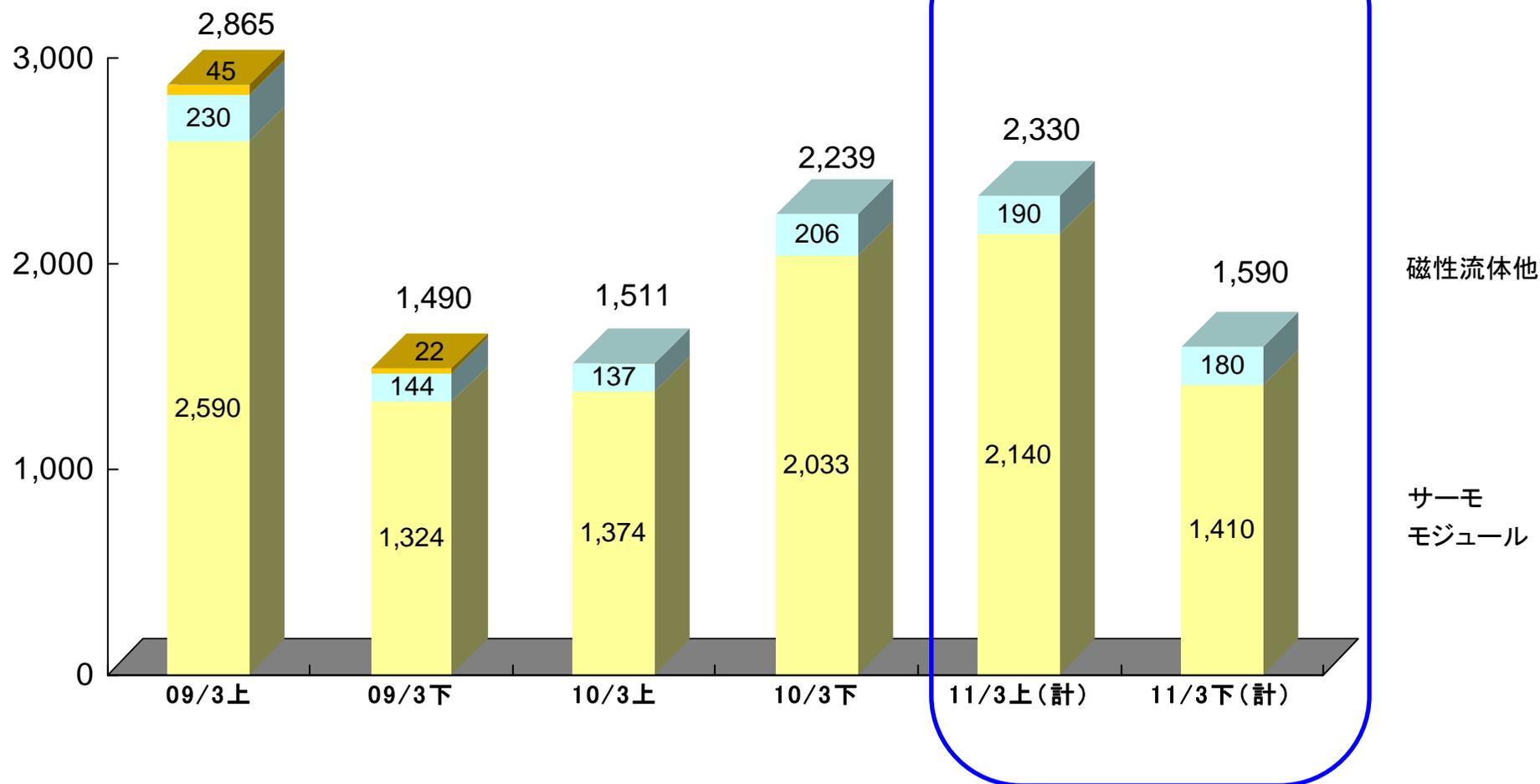
2011/3期 予想 (1-12月)

売上高 31億円



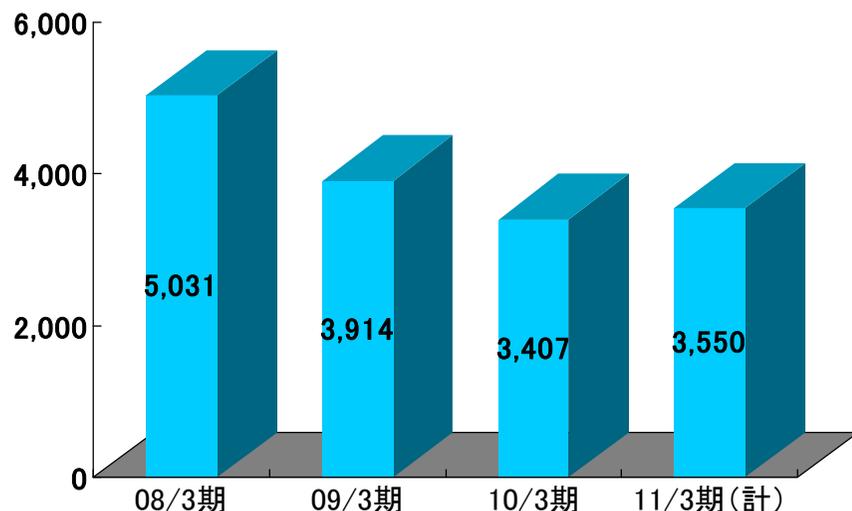
注)FC:ファイン・セラミックス、 MC:マシナブル・セラミックス(ホトベール)

売上高
(百万円)

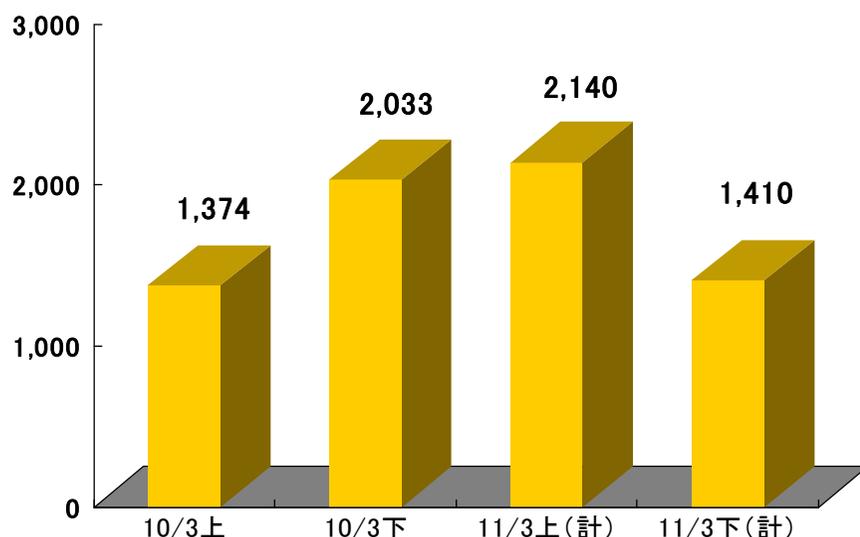


(百万円)

売上高の推移



(百万円)



1. 10/3期の業績

自動車温調シート

- ・自動車産業が各国政府の支援策により回復
- ・中国市場での自動車販売伸長が寄与する

その他の産業

- ・在庫調整後に急速な受注増加となる
- ・民生と光学用は新アプリの登場で回復基調となる
- ・半導体向が苦戦のまま終了

2. 11/3期の見通し

自動車温調シート

- ・政府支援の先食いから、下期に在庫調整を見込む

その他の産業

- ・半導体向けが回復基調に転じる
- ・医療検査、バイオ機器用が伸張
- ・民生用は採用製品拡大で好調維持

《施策》

- ・自動化ラインを拡大
- ・光通信市場の拡大
- ・民生新アプリケーションへの挑戦
- ・CO2削減、発電用モジュールへの挑戦

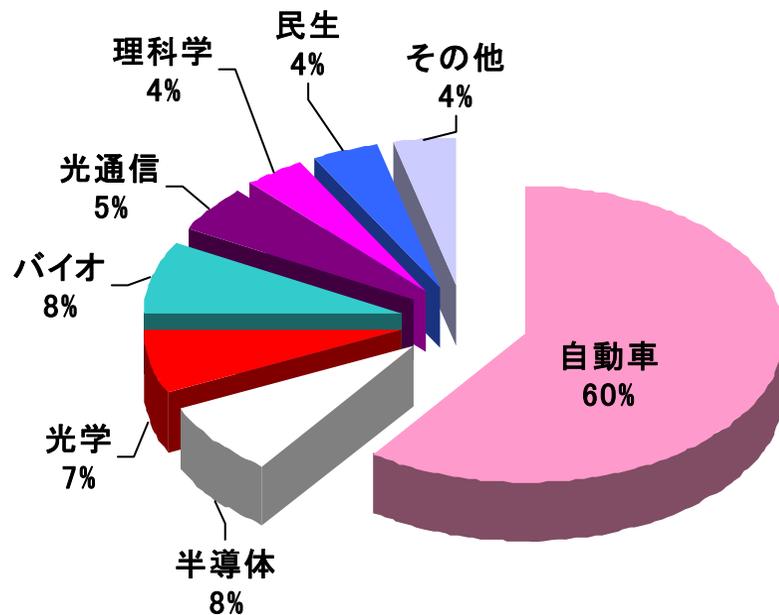


サーモモジュールの業種別販売先シェア



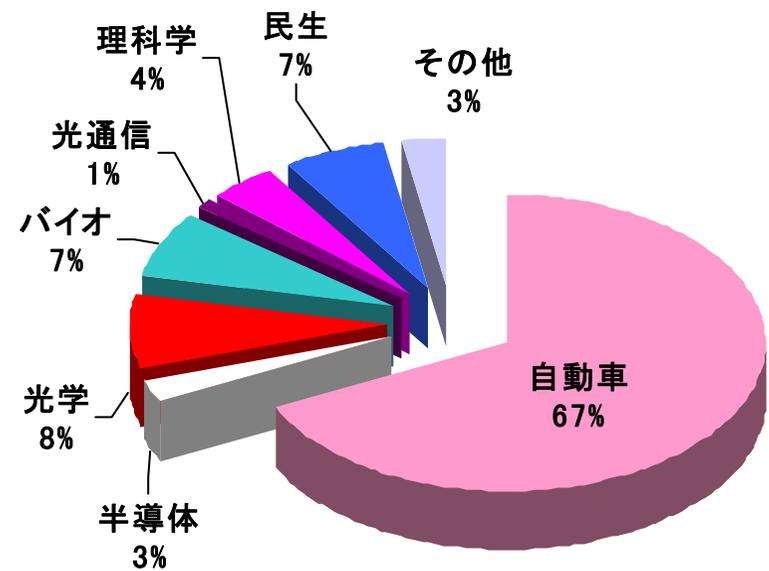
2009/3期

売上高 39.1億円

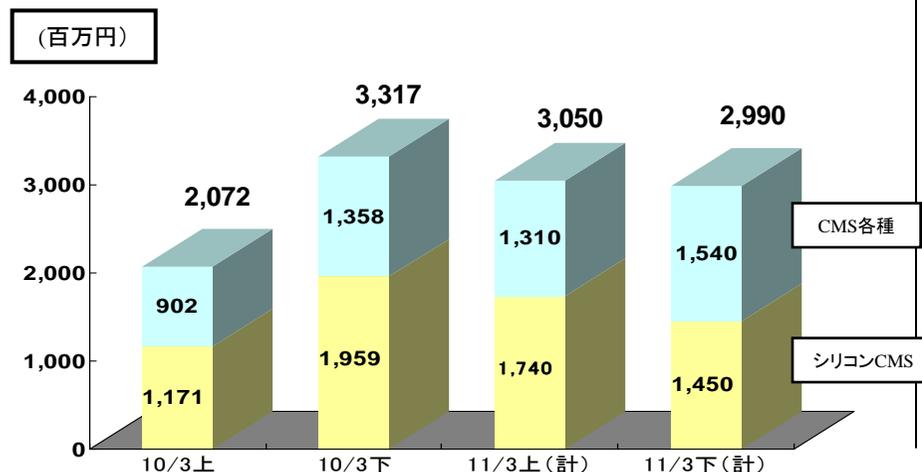
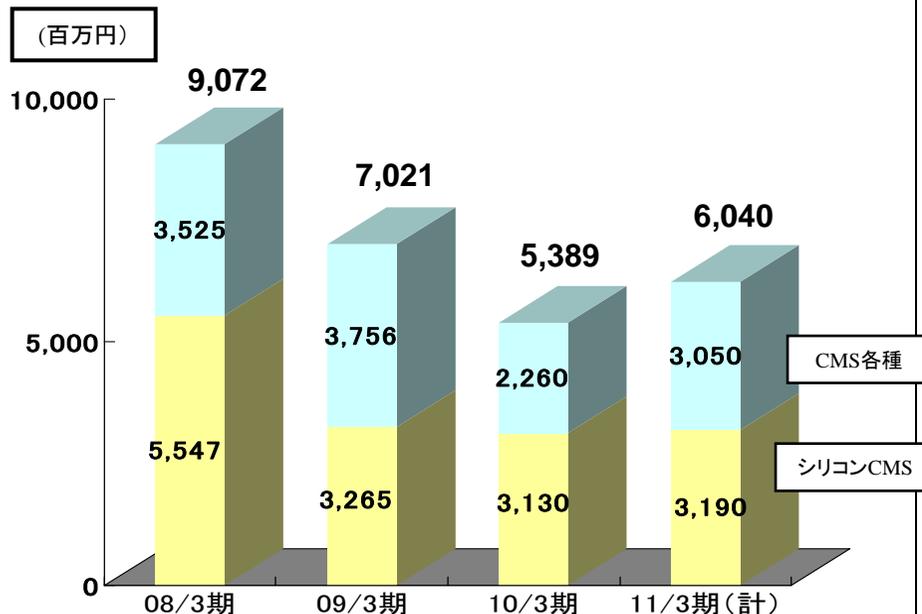


2010/3期

売上高 34.0億円



売上高の推移



CMS事業： 受託製造品各種 & ウェーハ加工

1. 10/3期の業績

シリコンCMS(ウェーハ加工)

- ・ディスクリートウェーハの回復

装置部品洗浄

- ・FPD装置の稼動が堅調に推移

工作機械製造・その他

- ・市場環境悪化で低迷したが徐々に回復

2. 11/3期の見通し

シリコンCMS(ウェーハ加工)

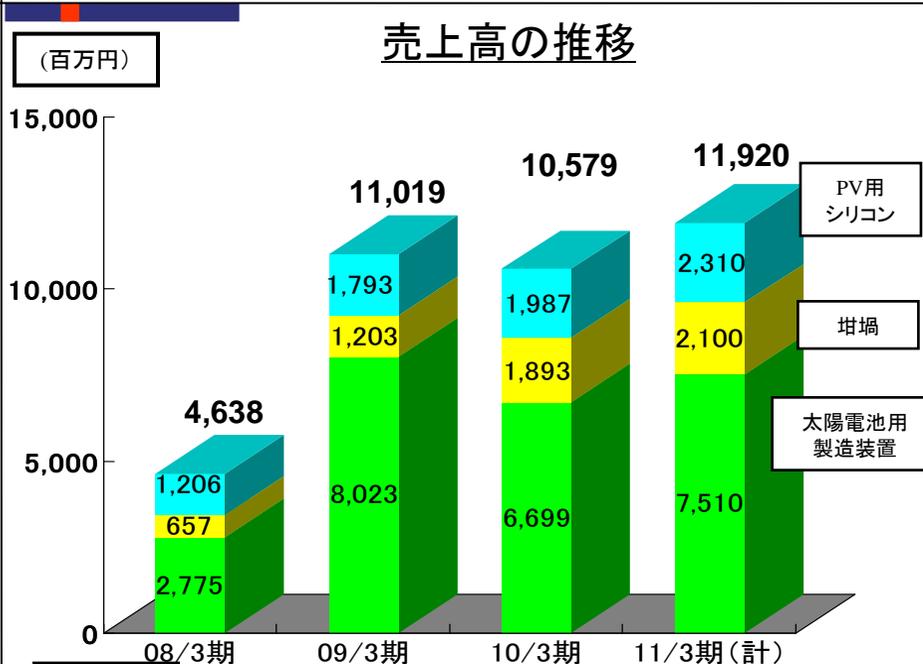
- ・市場環境の回復で増加の見通し

装置部品洗浄

- ・中国ファウンドリーから上海以外での稼動要請

工作機械製造・その他

- ・中国市場向けの製品が増加見通し



1. 10/3期の業績

太陽電池シリコン製造装置

- 受注減少により出荷売上は前年比われとなる

PV用シリコン単結晶

- 年央までは需給減少により出荷量減少
- 年後半から回復し、計画のとおり増収を実現

坩堝

- 新規顧客開拓が効を奏する
- 年後半から顧客の稼働率が回復し、大幅増収となる

2. 11/3期の見通し

太陽電池シリコン製造装置

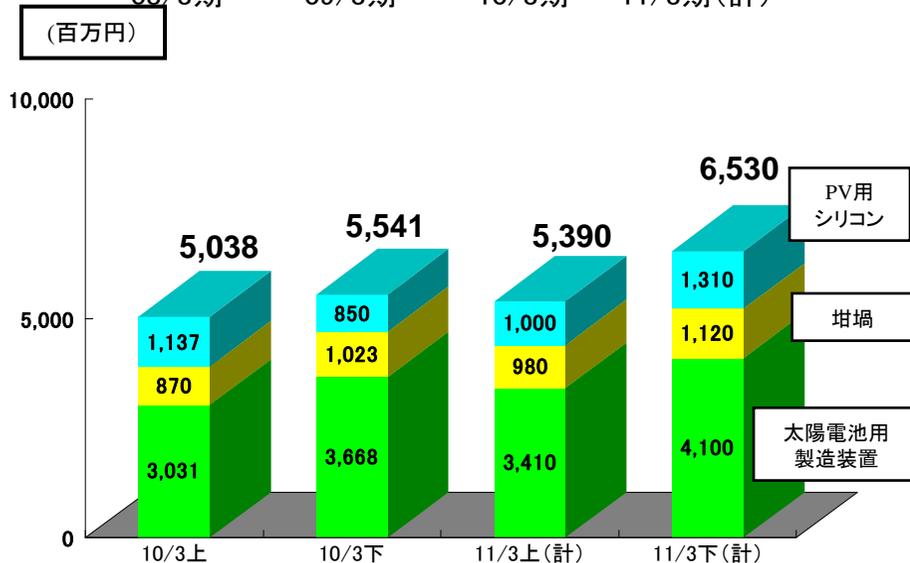
- 客先の大型工場新設に伴い、受注や引合いが増加
- 高機能・高効率の新型機種を発表
- 角切りソー、ウエーハ検査装置など関連装置を発表

PV用シリコン結晶(多結晶ウエーハを開始)

- 原材料ポリシリコンの価格は横ばい
- 需要増加だが製品価格は値下がり

坩堝

- 客先からの値下げ要求が根強い
- 米国工場の年末稼働を計画
- 多結晶向け角槽事業を準備中



— 当社の太陽電池関連事業におけるセグメント —

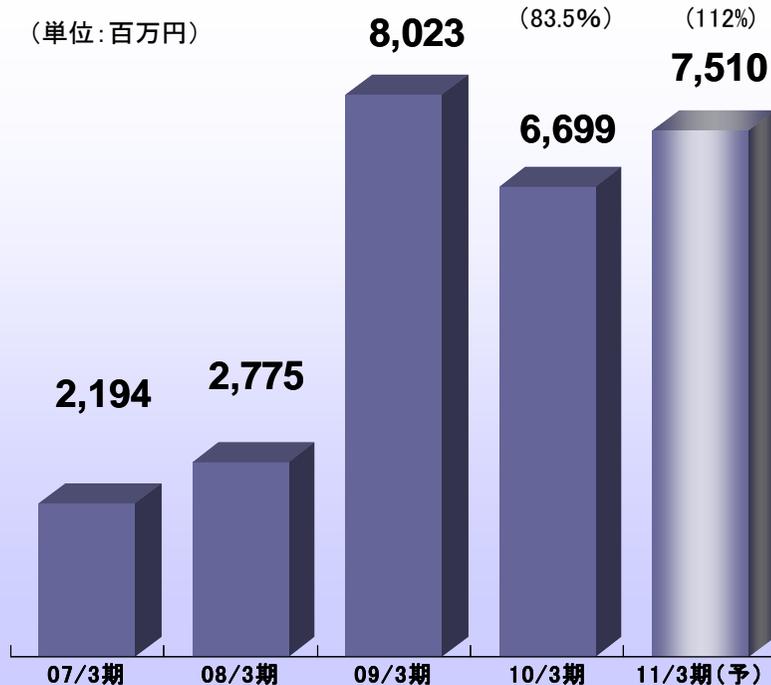
消耗品群

太陽電池用シリコン
(インゴット)

シリコン結晶製造装置

結晶装置売上高推移及び予測

(単位:百万円)



【既存事業内容】

(単・多)結晶製造装置の開発・販売

【事業領域の拡大・・・新たな取組み】

- 新型製造装置の発表(単結晶150Kg,多結晶800Kg)
- 周辺装置の開発(角切りソー、ウエーハ検査装置等)

— 単結晶シリコンウエーハの製造工程 —



— 当社の太陽電池関連事業におけるセグメント —

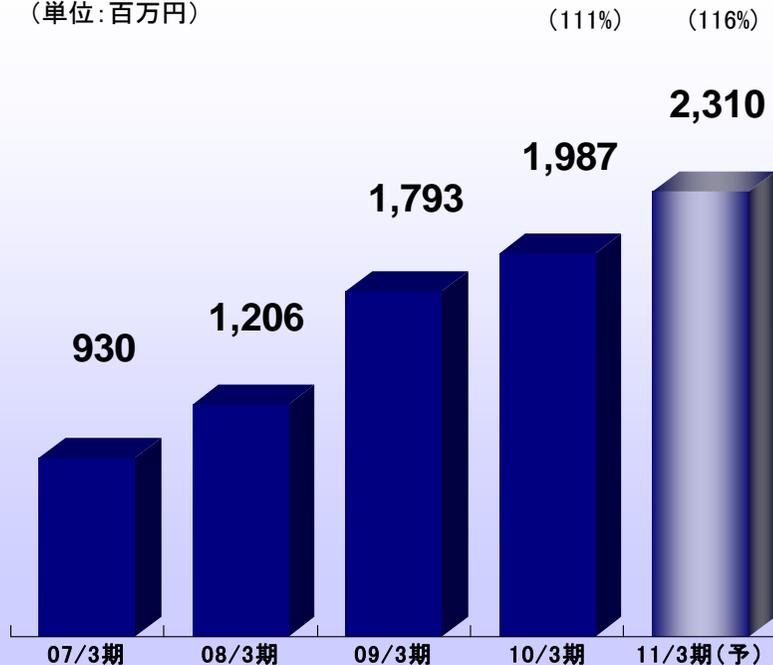
消耗品群

太陽電池用シリコン
(インゴット)

シリコン結晶製造装置

インゴット売上高推移及び予測

(単位:百万円)



【既存事業内容】

(単・多)インゴットの製造・販売

【事業領域の拡大・・・新たな取組み】

- より顧客ニーズに沿った製品拡充
- PV用ウエーハの販売を開始

単結晶インゴット

多結晶インゴット

PV用ウエーハ



— 当社の太陽電池関連事業におけるセグメント —

消耗品群

太陽電池用シリコン
(インゴット)

シリコン結晶製造装置

消耗品群売上高推移及び予測

(単位:百万円)

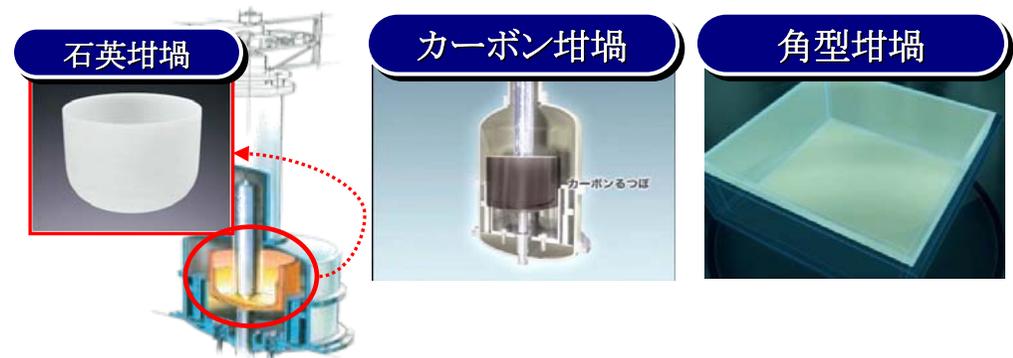


【既存の主な取扱い製品】

- 石英坩堝(単結晶製造装置の消耗品)
- 中国工場の増強による供給量の増加

【今後本格的に取扱う製品群】

- 多結晶用ベッセル(角型坩堝)
- ホットゾーン(カーボン坩堝)



製造装置事業＋消耗品＋結晶事業＋サポート事業によるトータルソリューション

結晶製造装置と周辺装置

多結晶製造装置



単結晶引上装置



二つの収益源

消耗品・サポート事業の拡大

石英坩堝 ・ ホットゾーン ・ 角槽



収益の構造

ストック収益

【製造装置関連】

- ・メンテナンスによる収益 (真空シール、周辺部品)

フロー収益

【製造装置・結晶関連】

- ・装置の販売による収益
- ・結晶販売による収益

納入台数の増加により
消耗品の供給量も増加

【消耗品関連】

- ・継続的な消耗品 (坩堝、角槽、ホットゾーン製品) の供給による収益

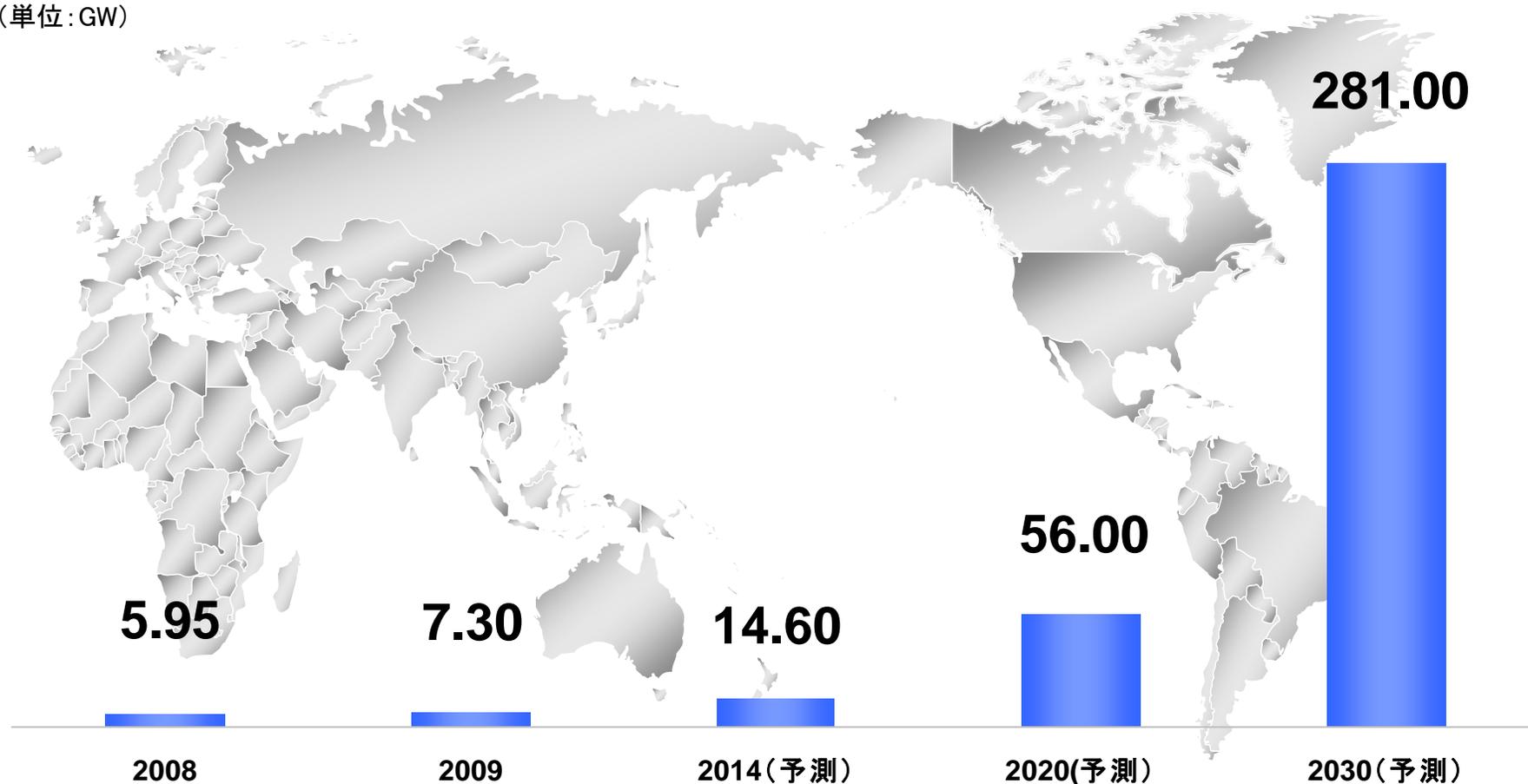
【サポート事業】

- ・稼働率と品質を支えるプロセス指導、操作教育、工場運営支援による収益

PV市場の拡大に伴い、製造装置市場・シリコン生産量も成長・拡大の予測

世界の太陽電池設置量推移及び予測

(単位:GW)



1 エレクトロニクス産業

LED市場

- ・MOCVD装置事業M&A完了
- ・電子ビーム・蒸着システム
- ・サファイヤ炉の自社開発
- ・米国子会社で開発中
- ・プロセス用製品の石英・セラミックスの拡販
- ・順調に拡大中
- ・LEDの熱対策用サーモモジュール
- ・新アプリで採用

半導体市場

- ディスクリットウエーハ独自販売を開始
- ・月産40万枚を目標に準備
- スペアパーツ、プロセス用消耗品の充実
- ・シリコンパーツを品揃え
- ユニット事業(装置サブアSEMBリ品)
- ・受注済み 量産開始

2 PV市場への横展開

- ・新型シリコン結晶装置 — 単結晶150Kgチャージ、多結晶800Kgチャージ
- ・ウエーハ工程までの関連装置の開発・販売
 - ①角切ソー装置の自社開発完了
 - ②ウエーハ検査装置(マイクロニクス社と共同開発発表)
 - ③ストリンガー装置(他社とアライアンス検討)

3 PV事業の拡充

- ・多結晶ウエーハ事業 — インゴットからウエーハまでをOEM生産開始
- ・消耗品のラインアップ — 多結晶用 角槽製造・販売(アライアンス検討中)
- ・単結晶用ホットゾーン — カーボン坩堝、熱源廻りの自社生産

The background of the slide features a collage of industrial machinery and components. On the left, the Ferro Tec logo is displayed in a light blue, semi-transparent font. Below the logo, there is a list of product categories in Japanese: 熱処理装置 (Heat treatment equipment), 真空電機 (Vacuum electrical), and 真空電機 (Vacuum electrical).

Ferro Tec

熱処理装置
真空電機
真空電機

株式会社フェローテック

2010年3月期 決算説明会 参考資料編

2010年6月1日

(ジャスダック6890)

<http://www.ferrotec.co.jp/>

1. 当期連結決算においては、連結子会社・持分法適用会社は2009年1月～12月末の業績、フェローテック単体は、2009年4月～2010年3月末の業績を連結しております。
2. 本資料は、2010年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、本資料は2010年6月1日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

業績比較(09/3期と10/3期)



(百万円)		09/3期実績		10/3期実績			
			構成比		構成比	増減額	増減比
売上高		36,653	100.0%	31,541	100.0%	△ 5,112	-13.9%
	真空シール・部品	5,393	14.7%	3,921	12.4%	△ 1,472	-27.3%
	石英製品	3,780	10.3%	3,470	11.0%	△ 310	-8.2%
	セラミックス	1,947	5.3%	2,524	8.0%	577	29.6%
	シリコン製品・その他	3,138	8.6%	1,907	6.0%	△ 1,231	-39.2%
	装置関連事業	14,258	38.9%	11,822	37.5%	△ 2,436	-17.1%
	サーモモジュール	3,914	10.7%	3,407	10.8%	△ 507	-13.0%
	磁性流体・FFB	441	1.2%	343	1.1%	△ 98	-22.2%
	電子デバイス事業	4,355	11.9%	3,750	11.9%	△ 605	-13.9%
	石英坩堝	1,203	3.3%	1,893	6.0%	690	57.4%
	太陽電池用シリコン	1,793	4.9%	1,987	6.3%	194	10.8%
	シリコン結晶製造装置	8,023	21.9%	6,699	21.2%	△ 1,324	-16.5%
	太陽電池関連事業	11,019	30.1%	10,579	33.5%	△ 440	-4.0%
	CMS事業	7,021	19.2%	5,389	17.1%	△ 1,632	-23.2%
売上総利益		11,295	30.8%	8,553	27.1%	△ 2,742	-24.3%
販管費		8,505	23.2%	7,850	24.9%	△ 655	-7.7%
営業利益		2,790	7.6%	703	2.2%	△ 2,087	-
経常利益		2,097	5.7%	524	1.7%	△ 1,573	-
当期純利益		743	2.0%	156	0.5%	△ 587	-
設備投資額		3,178	8.7%	2,386	7.6%	△ 792	-24.9%
減価償却費		2,421	6.6%	2,605	8.3%	184	7.6%

業績比較(10/3期上期と下期)



(百万円)		10/3期上期実績		10/3期下期実績			
			構成比		構成比	増減額	増減比
売上高		13,423	100.0%	18,118	100.0%	4,695	35.0%
	真空シール・部品	1,589	11.8%	2,332	12.9%	743	46.8%
	石英製品	1,100	8.2%	2,370	13.1%	1,270	115.5%
	セラミックス	1,134	8.4%	1,390	7.7%	256	22.6%
	シリコン製品・その他	978	7.3%	929	5.1%	△ 49	-5.0%
	装置関連事業	4,801	35.8%	7,021	38.8%	2,220	46.2%
	サーモモジュール	1,374	10.2%	2,033	11.2%	659	48.0%
	磁性流体・FFB	137	1.0%	206	1.1%	69	50.4%
	電子デバイス事業	1,511	11.3%	2,239	12.4%	728	48.2%
	石英坩堝	870	6.5%	1,023	5.6%	153	17.6%
	太陽電池用シリコン	1,137	8.5%	850	4.7%	△ 287	-25.2%
	シリコン結晶製造装置	3,031	22.6%	3,668	20.2%	637	21.0%
	太陽電池関連事業	5,038	37.5%	5,541	30.6%	503	10.0%
	CMS事業	2,072	15.4%	3,317	18.3%	1,245	60.1%
売上総利益		3,323	24.8%	5,231	28.9%	1,908	57.4%
販管費		3,866	28.8%	3,984	22.0%	118	3.1%
営業利益		△ 543	-4.0%	1,246	6.9%	1,685	-
経常利益		△ 504	-3.8%	1,028	5.7%	1,532	-
当期純利益		△ 437	-3.3%	593	3.3%	1,030	-

業績比較(10/3期と11/3期計画)



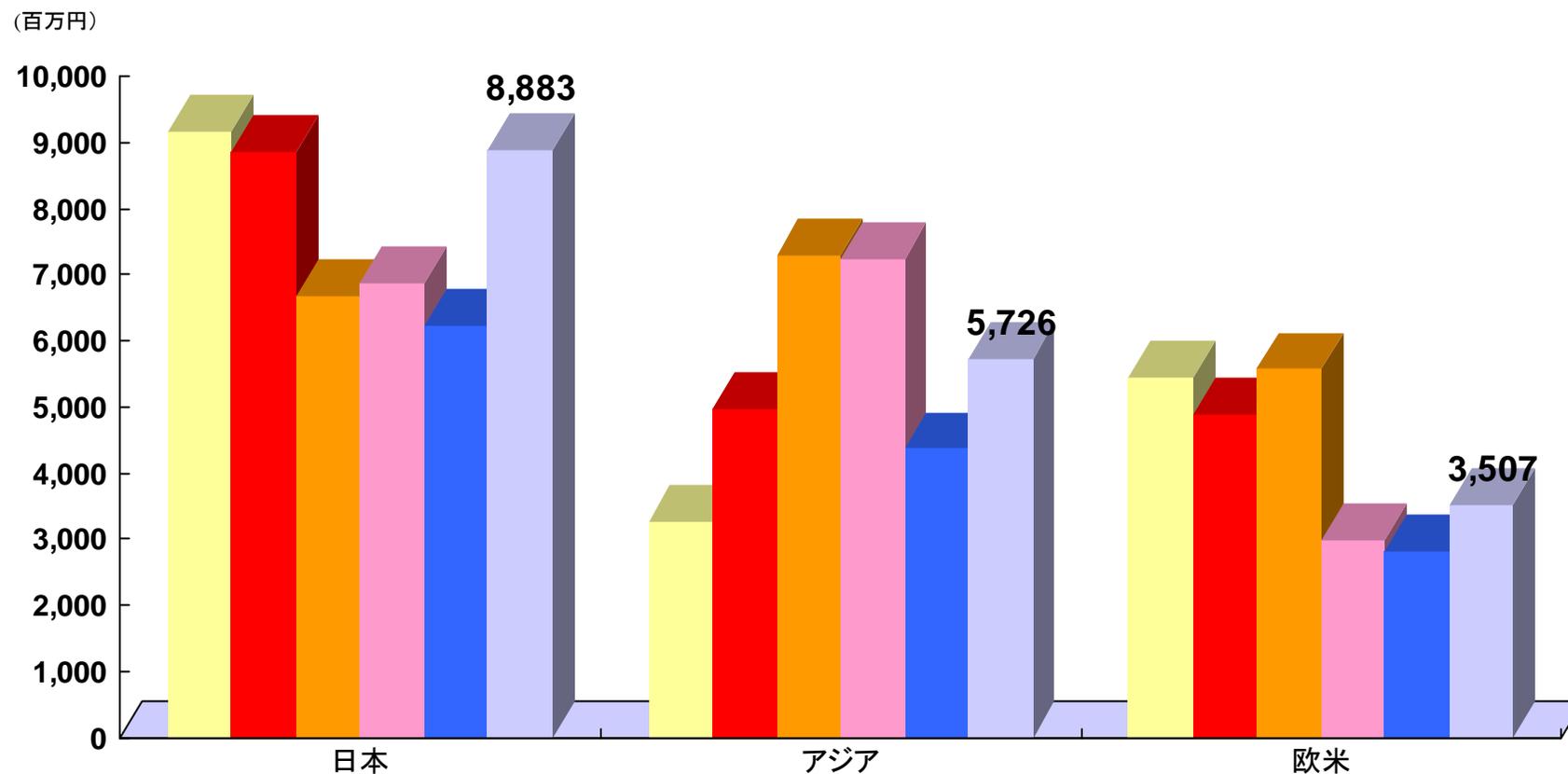
(百万円)		10/3期実績		11/3期計画			
			構成比		構成比	増減額	増減比
売上高		31,541	100.0%	38,000	100.0%	6,459	20.5%
	真空シール・部品	3,921	12.4%	5,200	13.7%	1,279	32.6%
	石英製品	3,470	11.0%	4,120	10.8%	650	18.7%
	セラミックス	2,524	8.0%	3,100	8.2%	576	22.8%
	シリコン製品・その他	1,907	6.0%	3,700	9.7%	1,793	94.0%
	装置関連事業	11,822	37.5%	16,120	42.4%	4,298	36.4%
	サーモジュール	3,407	10.8%	3,550	9.3%	143	4.2%
	磁性流体・FFB	343	1.1%	370	1.0%	27	7.9%
	電子デバイス事業	3,750	11.9%	3,920	10.3%	170	4.5%
	石英坩堝	1,893	6.0%	2,100	5.5%	207	10.9%
	太陽電池用シリコン	1,987	6.3%	2,310	6.1%	323	16.3%
	シリコン結晶製造装置	6,699	21.2%	7,510	19.8%	811	12.1%
	太陽電池関連事業	10,579	33.5%	11,920	31.4%	1,341	12.7%
	CMS事業	5,389	17.1%	6,040	15.9%	651	12.1%
売上総利益		8,553	27.1%	11,170	29.4%	2,617	30.6%
販管費		7,850	24.9%	8,420	22.2%	570	7.3%
営業利益		703	2.2%	2,750	7.2%	2,047	291.2%
経常利益		524	1.7%	2,330	6.1%	1,806	344.7%
当期純利益		156	0.5%	1,360	3.6%	1,204	771.8%
設備投資額		2,386	7.6%	3,000	7.9%	614	25.7%
減価償却費		2,605	8.3%	2,700	7.1%	95	3.6%

業績比較(11/3期上期と下期)



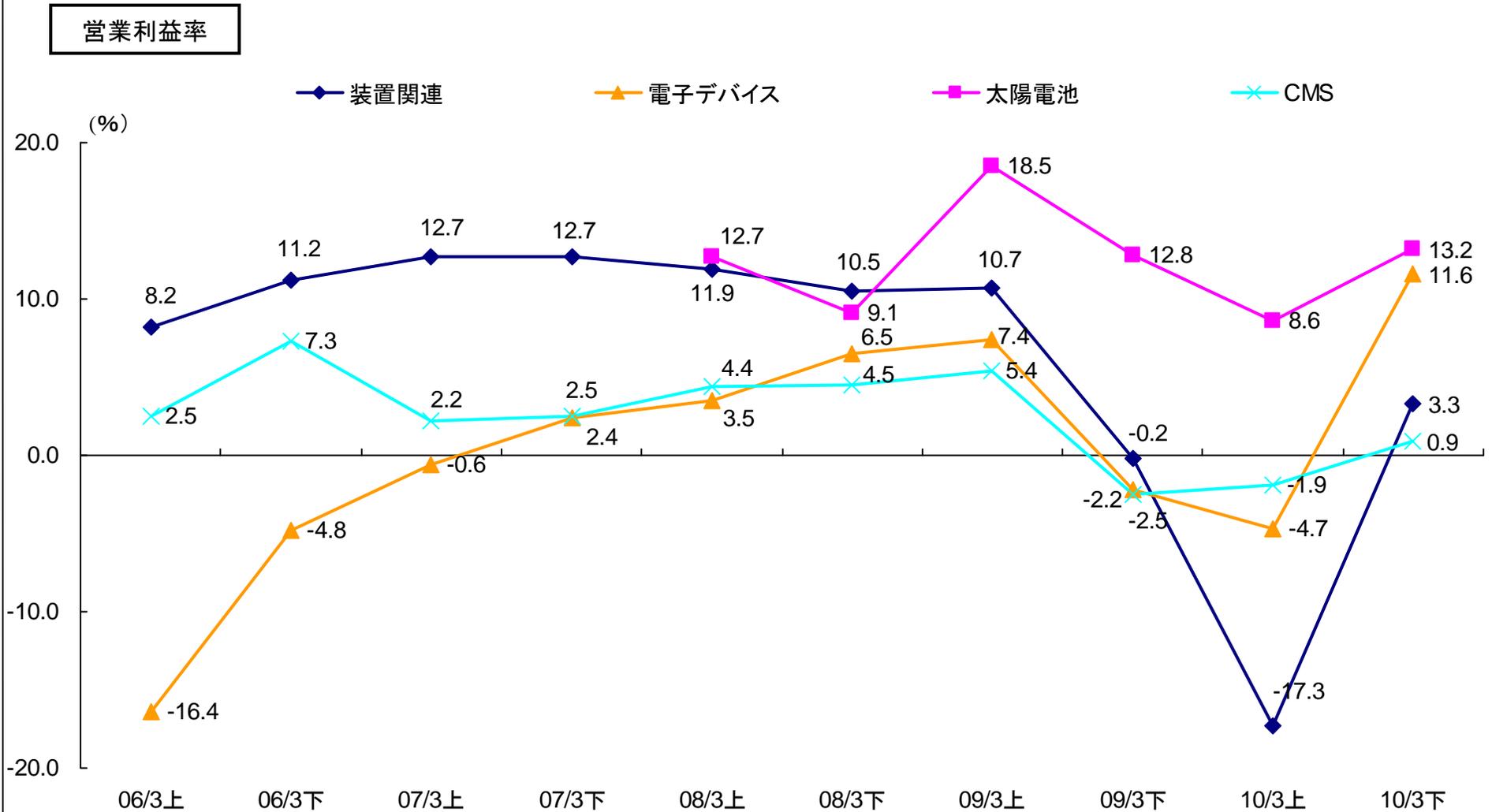
(百万円)		11/3期上期 計画		11/3期下期 計画			
			構成比		構成比	増減額	増減比
売上高		18,780	100.0%	19,220	100.0%	440	2.3%
	真空シール・部品	2,610	13.9%	2,590	13.5%	△ 20	-0.8%
	石英製品	2,050	10.9%	2,070	10.8%	20	1.0%
	セラミックス	1,500	8.0%	1,600	8.3%	100	6.7%
	シリコン製品・その他	1,850	9.9%	1,850	9.6%	0	0.0%
	装置関連事業	8,010	42.7%	8,110	42.2%	100	1.2%
	サーモモジュール	2,140	11.4%	1,410	7.3%	△ 730	-34.1%
	磁性流体・FFB	190	1.0%	180	0.9%	△ 10	-5.3%
	電子デバイス事業	2,330	12.4%	1,590	8.3%	△ 740	-31.8%
	石英坩堝	980	5.2%	1,120	5.8%	140	14.3%
	太陽電池用シリコン	1,000	5.3%	1,310	6.8%	310	31.0%
	シリコン結晶製造装置	3,410	18.2%	4,100	21.3%	690	20.2%
	太陽電池関連事業	5,390	28.7%	6,530	34.0%	1,140	21.2%
	CMS事業	3,050	16.2%	2,990	15.6%	△ 60	-2.0%
売上総利益		5,570	29.7%	5,600	29.1%	30	0.5%
販管費		4,180	22.3%	4,240	22.1%	60	1.4%
営業利益		1,390	7.4%	1,360	7.1%	1,685	-
経常利益		1,170	6.2%	1,160	6.0%	△ 10	-
当期純利益		710	3.8%	650	3.4%	△ 60	-

事業所地域別の売上高推移

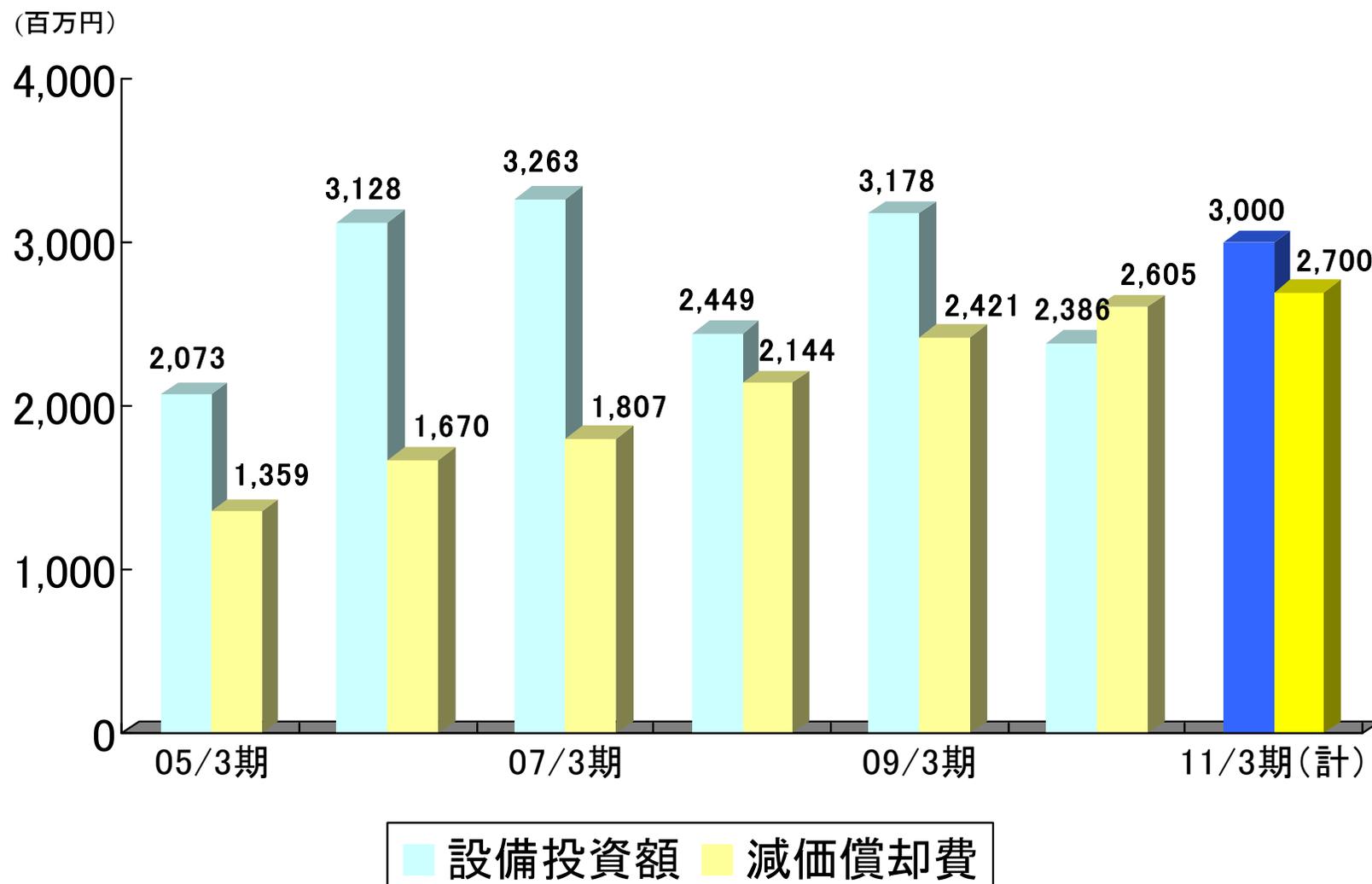


セグメント別営業利益率の推移

□ 売上増+コスト削減効果により利益率は軒並み回復傾向

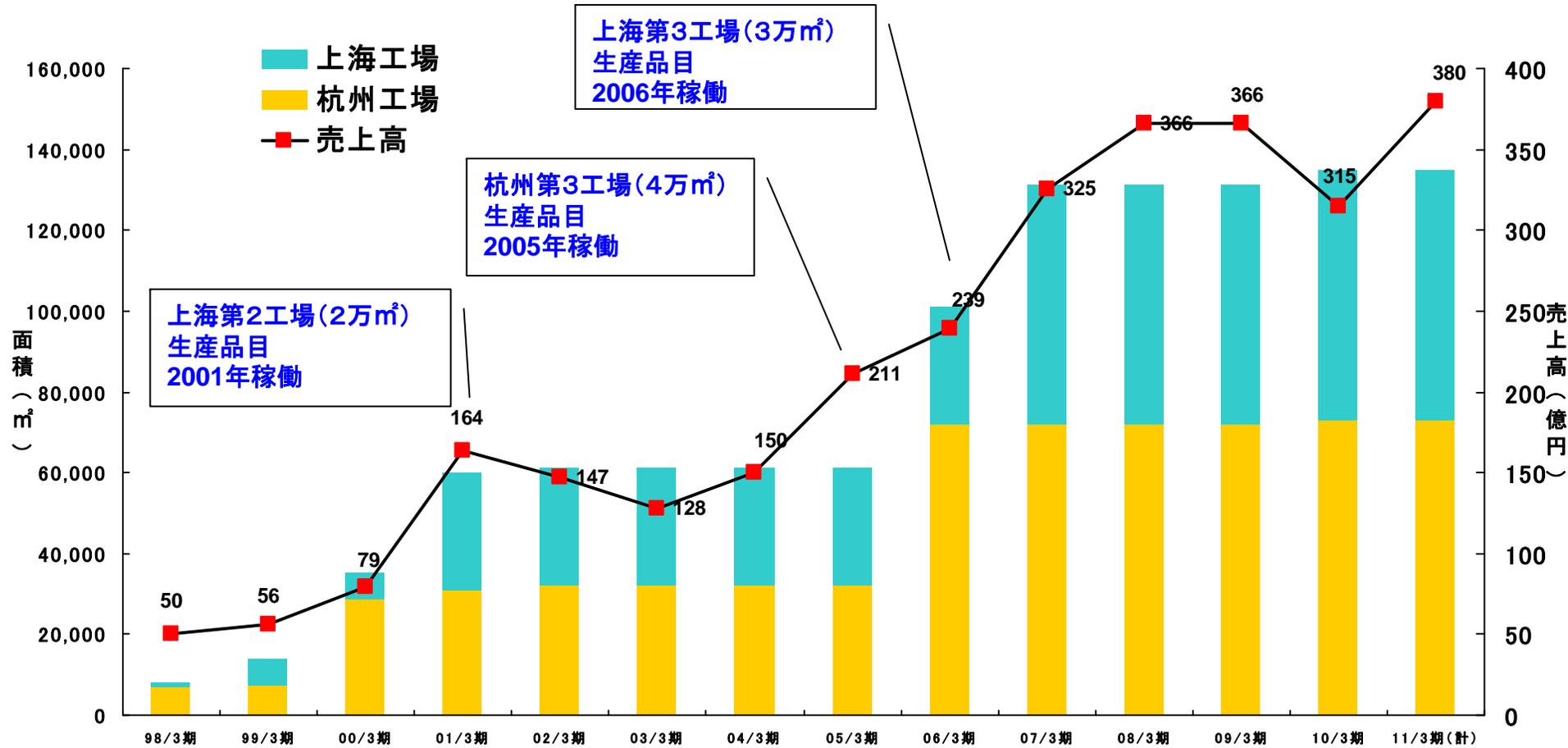


設備投資額/減価償却費のグラフ(05/3-11/3)

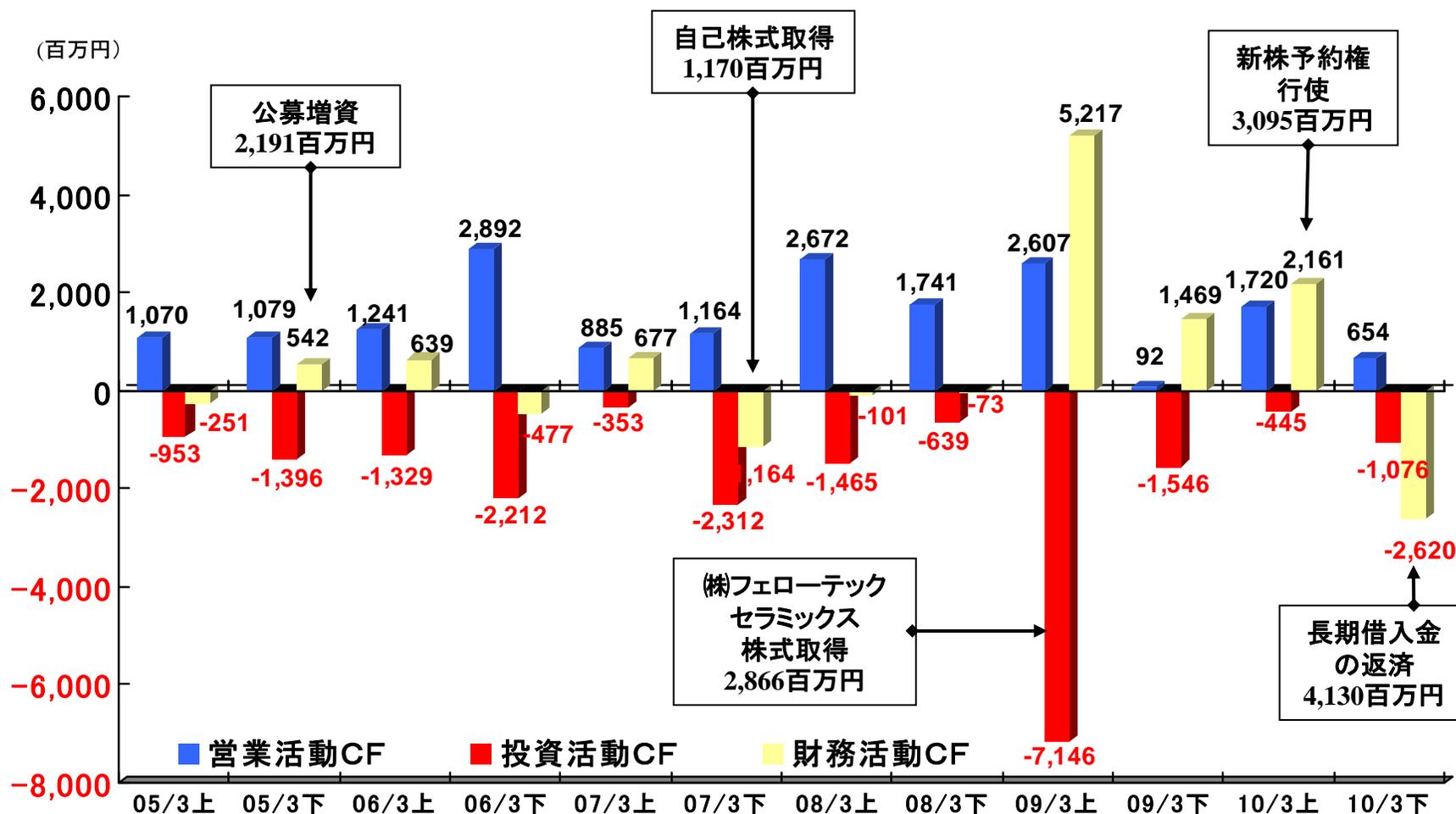




中国の生産能力について



キャッシュフローの推移



第1回新株予約権(第三者割当て)の権利行使による資金調達を完了
 ⇒ 市場環境の変化等により資金使途を一部変更

行使指定を行った新株予約権の数	調達金額
3,000個(対象株式数:3,000,000個)	3,051,000千円(2009年10月16日時点)

資金使途	投資予定額 ()内:当初投資予定額
中国工場における生産能力の増強投資	約11億円 (約5億円)
設立を検討中の石英坩堝工場の設備資金等	約8億円 (約15億円)
借入金の一部返済	約11億円 (約10億円)

M&A・アライアンス・グループ戦略



過去のM&Aと提携、およびグループ再編の実績・・・製造技術を持つ先の子会社化や事業拡大のための提携

時期	M&A・アライアンス・グループ戦略	具体的な内容
2010年1月	英国のEdwards Vacuum Inc.から Temescal事業部譲受	LED製造装置市場へ参入のため、化合物半導体産業向け電子ビーム蒸着システムの製造・販売事業を行うTemescal事業部をEdwards Vacuum Inc.から譲受
2008年 7月	住金セラミックス・アンド・クォーツ(株)の株式取得・子会社化・商号変更	住金セラミックス・アンド・クォーツ(株) のセラミックス事業以外にかかる事業を新設分割させた後の存続会社株式の90%を2008年7月に取得・子会社化→「フェローテックセラミックス」
2007年 12月	韓国に合併で組立販売会社設立	太陽電池製造装置 製造のため、現地企業と合併で「CMCフェローテック」を設立
2007年 4月	韓国に合併で製造会社設立	真空シール 製造のため現地企業(KSMC社)と合併で「Ferrotec Korea Co., Ltd.」設立
2006年 11月	子会社の吸収合併および清算	真空シール 製造のフェローテック精密を吸収合併。子会社2社を清算(12月)
2006年 9月	台湾に合併で販売会社を設立	地元資本と合併で、 真空シール の販売とメンテナンスを行うフェローテック台湾を設立
2005年 12月	米国LTD Ceramics社と合併会社設立	中国で セラミックス 製造のための合併会社を設立
2005年 7月	ロシアNORD社の株式を取得	ペルチェ素子 の製造・販売会社を連結子会社化、世界シェアを拡大
2005年 5月	韓国KSM社と事業提携	真空シール 、半導体製造装置関連製品の相互販売提携
2004年 10月	英Advanced Fluid Systems社から営業権取得	同社から欧州の 真空シール 事業の営業権を取得
2004年 7月	独アプライトフィルムズ社と独占供給契約締結	同社向けに当社 真空シール を独占的に提供
2003年 10月	石英製品製造のアリオンテックと業務提携及び資本提携	石英製品 の研削加工技術を持つアリオンテック社と技術提携し、中国における石英製品の製造技術を強化
2002年 2月	東芝セラミックス・三井物産と提携しシリコンウェハの受託製造を開始	CMS事業として同社 シリコンウェハ 製造設備を中国工場に移管、同社向け製造受託
2002年 2月	シリコンインゴット製造のテクノシリコンを子会社化	単結晶シリコンインゴット の製造技術・営業権をグループで取得